



四国福音放送

世の光

1269

2023

6

vol.522

光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。
(ヨハネの福音書 1章 5節)

キリストに出会う



日本聖公会 徳島聖テモテ教会 執事

宮田 裕三

ヨハネによる福音書八章六節「イエスは身をかがめて、指で地面に何か書いておられた」

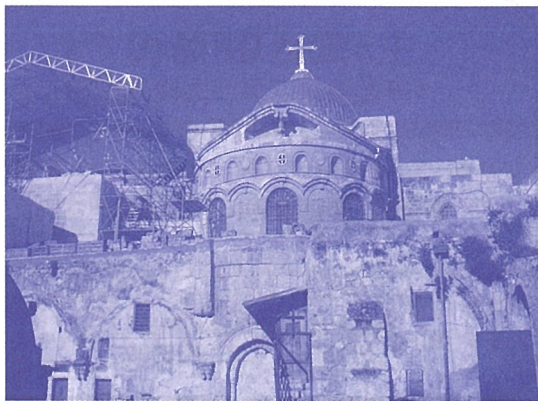
徳島県内のキリスト者の人数はおおよそ二千七百人ぐらいかと思われる。日本全体のキリスト者は総人口の約1%といわれています。徳島県の場合七千人程度が1%に当たります。二千七百人という七千人の半分以下ですから、四捨五入してパーセントで表すと0%になってしまいます。実際に全国のキリスト教人口をパーセントで表すリストが発表されると徳島県は0%と表記されることあります。そのようなキリスト者が少ない徳島であっても、まだお目にかかったことがない、

名前も知らない、どこの教会のメンバーなのかも知らないキリスト者にはつたりと出会うことがあります。出会うといっても直接お目にかかるのではなく、車の後ろに貼ってあるステッカーを目撃して、後ろからまたお隣から「おっキリスト者だ！」と気がつくのです。

魚のかたちをかたどったサインや、そのかたちの中に I X Θ Y Σ (ギリシャ語で「魚」また「イエス、キリスト、神の子、救世主」の頭文字) という文字が書かれているステッカーを「存知でしょう。いままでも県内で三台ほど出会いました。この魚のかたちをかたどった二本の線は、初期キリスト者たちが迫害から逃れるために、お互いがキリスト者であることを確認するために砂に互いに線を書いて、この形になればお互いがキリスト者であるということを確認しあっていったといわれています。また、指で地面に何かを書いていたイエスの筆跡を模しているともいわれています(諸説あります)。もちろん魚のかたちは二匹の魚と五つのパン(五千人を満腹にさせ

たイエスの奇跡)の魚です。

自らキリスト者であることをアピールしているステッカーを見つけると大きな勇気をいただきます。私たちは「イエスはキリストである」と証し続けることで二千年以上の長い間、信仰の旅を続けてきました。小さなステッカーですが、そこには力強い信仰の力を垣間見るように感じます。そして神の恵みを受けている信仰者の姿の一端のようにも感じています。イエスとともに、そして、まだ見ぬキリスト者とともに信仰の旅を歩んで行きたいと思えます。



イエス様の復活された墓の上に立つ聖墳墓教会